

第4学年社会科学習指導案

1 単元名 わたしたちの埼玉県

2 本時の学習 (3～4 / 26)

(1) ねらい 埼玉県の地形図をもとにした立体地図を作ることとおして、地図や埼玉県の土地の様子に関心をもつことができる。

(2) 展開

過程	活動内容	指導上の留意点	資料・道具	時間
導入	1 埼玉県の立体模型を見て地形の特徴を知る。	・埼玉県の地形は西高東低であることを理解させる。	・埼玉県の立体模型	5分
	2 立体地図の見本を見て、本時の活動の見通しをもつ。	・カッターで切り取るので、けがには十分注意するよう呼びかける。	・見本の立体地図 ・立体地図の部品	
展開	3 立体地図をつくる。 埼玉県のおもな川をぬる。	・見本を見せる。 ・マニュアルを見ながら、埼玉県に流れている4つのおもな川を確認しながら、色をぬらせる。 ・川の名前も書き込ませる。 ・埼玉県が接している都県を確認させる。	・立体地図のつくり方マニュアル ・マジック	10分
	台地をぬる。 ・台地の部分に色をぬる。	・島のようにはなれている台地が東の方に7か所あるので、忘れずにぬらせる。	・色えんぴつ	10分
	丘陵・盆地をつくる。 ・部品の地図を貼ったハレパネから、丘陵の部分(実線)を切り取る。	・カッターでだいたいの形に切らせる。そのあと、細かいところをていねいに切り取らせる。 ・狭山丘陵を忘れないように指示する。	・部品用ハレパネ ・カッターマット	25分
	・切り終わったら、点線の外側をマジック(だいたい色)でぬる。 ・ぬり終わったら、台地の上に重ねて貼る。 ・かくれた川をぬる。	・秩父盆地のところも忘れないように確認する。カットした内側をぬると見栄えがよい。 ・台地の地図の点線に合わせて、丘陵の部分を貼るようにさせる。	・マジック ・のり	
	山地(1000m未満)をつくる。 ・部品の地図を貼ったハレパネから、山地(1000m未満)の部分(実線)を切り取る。	・カッターでだいたいの形に切らせる。そのあと、デザインカッターを使って、細かいところをていねいに切り取らせる。	・部品用ハレパネ ・カッターマット	25分

	<ul style="list-style-type: none"> ・切り終わったら、点線の外側をマジック（茶色）でぬる。 ・ぬり終わったら、丘陵の上に重ねて貼る。 ・かくれた川をぬる。 <p>山地(1000m 以上)をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品の地図を貼ったハレパネから、山地(1000m 以上)の部分（実線）を切り取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・切り終わったら、全体をマジック（茶色）でぬる。 ・ぬり終わったら、山地(1000m 未満)の上に重ねて貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カットした内側をぬると見栄えがよい。 ・丘陵の地図の点線に合わせて、山地(1000m 未満)の部分を貼るようにさせる。 ・カッターでだいたいの形に切らせる。そのあと、細かいところをていねいに切り取らせる。 ・カットした内側をぬると見栄えがよい。 ・山地(1000m 未満)の地図の点線に合わせて、山地(1000m 以上)の部分を貼るようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マジック ・のり ・部品用ハレパネ ・カッターマット ・マジック ・のり 	10分
整理	4 作成したときに感じたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の作品を認めるようにする ・西高東低の地形であることや川は高いところから低いところを流れていることに気づかせる。 		5分

3 準備

カッター、カッターマット、マジック（4色 しよく 青、だいたい、茶、こげ茶）、色えんぴつ（黄または やまぶき）、のり、ハレパネ（5 mm）に埼玉県全体の白地図を貼ったもの、ハレパネ（3 mm）に部品の白地図を貼ったもの。